



プラス・ミュージアム・プログラム 2023年度キックオフシンポジウム

記録をどう「つくる」「つたえる」「つかう」か — 文化施設におけるアーカイブのあり方を考える —

地域文化の土台を積み上げる、
生きたアーカイブを目指して。

北海道大学「プラス・ミュージアム・プログラム」は、わたしたちを取り巻くさまざまな課題に、ミュージアムならではのやり方でアプローチする方法を学ぶ3年間のリカレント教育プログラムです。1回だけの参加、オンラインでの参加、遠方からの参加も歓迎します。

主催：北海道大学文学研究院 共催：北海道大学総合博物館 助成：文化庁「令和5年度大学における文化芸術推進事業」（事業名「ミュージアムにおける異分野との「対話」と「寄り添い」を通じた人材育成事業」）

2023年度のプラス・ミュージアム・プログラムでは、さまざまな問題にミュージアムをプラスしていくことの可能性を、より具体的な問題に的を絞り、個々のケースに寄り添うことで、探っていきます。キックオフ・シンポジウムでは、文化施設における「記録」について考えていきます。

どう「つくり」、どう「つたえ」、どう「つかう」ことが、地域社会に価値をもたらすのか。記録の「余白」や「暗黙知」、「当事者性」と「身体感覚」、「体験」・「対話」・「省察」などを切り口に、地域創造の「おんかつ」事業、せんだいメディアテークの「わすれん！」など具体的な事例をもとに、文化施設における「記録」のあり方を考えます。

+ パネリスト 佐藤良子（静岡文化芸術大学 准教授）
甲斐賢治（せんだいメディアテーク アーティスティック・ディレクター）
岩崎久美子（放送大学 教授）

+ 司会・コーディネーター 佐々木亨（北海道大学文学研究院 特任教授）
卓彦伶（北海道大学文学研究院 特任准教授）

+ 開催情報 日時 | 2023年7月30日（日） 13:00～17:00
会場 | 北海道大学文系講義棟6番教室
(Zoomによるオンライン配信も併用)

+ 申し込み 事前のお申し込みが必要です。
締切 | 2023年7月28日（金）13:00
方法 | QRコードから申込フォームにお進みください。
参加料 | 無料

